

つながり

発行元
秋田市在宅医療・介護連携センター
TEL 018-827-3636
E-mail renkei-center@acma.or.jp

令和7(2025)年
1月24日 発行

Vol.24

本誌は、医療や介護に従事する皆様が多職種に向けて自らの情報を発信し、互いに理解を深め、顔の見える関係を築くための連携ツールとして発行しております。

テーマ別特集

認知症かな？と思ったら ～高齢者を支える地域の専門職ができること～

石郷岡 良彦 氏

御所野地域包括支援
センターけやき 管理者
好きな言葉:人のときを想う

藤枝 信夫 氏

医療法人清風会
清和病院 院長
好きな言葉:人生日は好日

渡部 達也 氏

秋田緑ヶ丘病院
医療福祉相談室 室長
好きな言葉:達成

医師への伝え方、専門医療機関へのかかり方

石郷岡 今回は身近な病気になっている認知症についてお話できたらと思います。私が所属する地域包括支援センター(以下:包括)では、高齢者の様々な相談を受けますが、そのなかでも認知症に関する相談は多いです。包括では、認知症が疑われる方の受診先として認知症疾患医療センター(以下:センター)を勧めることが多いのですが、センターの役割をご紹介いただけますか。

渡部 秋田市には基幹型である市立秋田総合病院、地域型である秋田緑ヶ丘病院の2つがあります。センターの役割としては、(1)専門的医療機能、(2)地域連携拠点機能、(3)診断後等支援機能など^{*1}があります。専門的医療機能のうち、大部分を占めるのが鑑別診断となりますので、鑑別診断後はかかりつけ医に治療を継続していただくことが多くなります。当センターでは専門医のほか4名の精神保健福祉士を配置し、患者さんが尊厳を持ち生活できるようご家族を含めて支援しています。昨今、診断後支援の充実が重要視されており、当センターでは精神保健福祉士が必ず面談で患者さんの状況を確認し、診察にも同席するなど手厚く支援する体制を整えています。

石郷岡 どのような方がどう利用するのが理想でしょうか。

渡部 「認知症かな？」と不安を感じている方、既に認知症の診断を受けている方、認知症による様々な症状が出現している方はセンターにご相談ください。早期に介入することで、受診後の選択肢が確実に広がりますので、診断結果をご本人が理解できる段階での受診が理想です。逆に重度に至ってからの介入では、支援の幅が狭まってしまいます。

石郷岡 包括が早期介入できたとしても、センターは何ヵ月も先まで予約が取れず、早期受診までつながらないことが多々あります。その場合、何を基準に別の病院を探したらいいのでしょうか。

藤枝 そうですね、基本的には近くて通院しやすい精神科のある病院や、認知症等診療ネットワーク協力医への受診をお勧めします。なるべく早く受診したい状況の時は、センターに限らずその時予約が取れるところに相談するのもいいでしょう。もし家から遠いなど通いづらい場合は、落ち着いてから通いやすい精神科に紹介状を書いてもらうなどの対応も考えられます。

石郷岡 認知症が疑われる症状があり、かかりつけ医に専門医への受診について相談しましたが、様子を見るように言われたことが何度かありました。そのような場合、どう対応していけばいいのでしょうか。

藤枝 様子見と言われたケースでは、おそらくご家族・支援者と医師との間で現状の捉え方にギャップが生じていたのではないのでしょうか。医師は今の治療で十分と思っていたのかもしれませんが、認知症の高齢者は、夜になると興奮したり攻撃的な行動をとることが多くなる一方、診察室では取り繕っていることが多いので、ご家族がどれほど困っているのか、その時の状態を細かに切々と説明しないと上手く伝わりません。

石郷岡 どういう症状が出ていて、何に困っているのかご本人の様子をかかりつけ医に分かってもらえるよう説明しなければならないということですね。

藤枝 そこまで力説すればかかりつけ医も、きっと分かると思います。当院に来られる方のなかには、単に「ケアマネジャーから受診を勧められたから来た」と言い、これまでの経緯や今後の方針についても答えられないご家族がいます。受診に付き添われる方には、事前にご本人の生活状況や症状、困りごと、今後の希望などを整理してから来ていただきたいと思っています。



認知症と診断されてからの関わり

石郷岡 専門医から認知症の診断を受けても、ご本人が治療を希望しないことがあります。包括としては、治療に繋がらなかった方や、私たちの介入を拒否する方に対しても関わりが途切れないように手紙を置いてくるなど工夫はしていますが、対応に悩むこともあります。

藤枝 包括の職員も日々試行錯誤されているのですね。認知症の方にとって、人や社会と繋がりを積極的にもつことが薬以上に大切なことになります。例えば、買い物に行く、散歩をする、近所の友達と話すなどで十分です。ただ、認知症の方が自分でそれらを継続していくことは難しいですので、周りで関わる方々が工夫してほしいですね。

石郷岡 生活環境や社会との繋がりという点では、私たち介護関係者が中心になって調整していける場所ですので、引き続き支援していければと思います。

藤枝 是非、お願いします。それでも中核症状や認知症の行動・心理症状（BPSD）がさらに悪化した時は再受診を勧めます。あとは、むせがひどくなるなど身体機能が低下してきている時も、再受診を検討するタイミングだと思います。センターをはじめとした専門医を受診し、薬剤調整をして、落ち着いたらかかりつけ医のところに戻る、そういう行ったり来たりをすればいいんだと思います。

渡部 どんな認知症の段階の方であっても、不安などがあった場合は、センターにお気軽にご相談ください。一方で、精神科単科の病院では身体疾患を専門的に診ることができません。そういったことから、かかりつけ医の先生方に引き続き身体疾患を診ていただくことをお願いする場合もあります。ご理解いただければと思います。

先を思い描いた支援を

石郷岡 話が変わりますが、運転免許の更新時に認知機能検査で引っ掛かったという方が包括のなかでも最近よく話題に上がっています。

藤枝 非常に多いです。いろいろなことができなくなって

きて自覚もしているなかで、最後に残っている自信は免許だけと感じている方、特に男性は多いです。一方的に取り上げてしまわず、そういった心境だということをまず理解してご家族で話し合ってもらいたいと日々感じています。

渡部 ご本人だけでなく、受診に付き添ったご家族からも免許をなくしてもらっては困るという思いをうかがうことがあります。秋田では特に、免許更新ができないと生活がままならないという方もいるでしょうからシビアな問題ですね。

藤枝 認知症だと認めたくないご家族もなかにはいますからね。ですので、私は日頃から長谷川式^{*2}をあえてご家族の前で行うようにしています。さっき見たものの名前が出てこないなどの様子を目の当たりにすることで、納得されることも多いです。難しいところだとは思いますが、ご本人もご家族も納得したうえで免許返納できるといいですね。

石郷岡 免許返納後の移動手段については地域課題として検討し、自治体の動きを見ながら今ある資源をうまく活用した支援を行っていければと思います。最後になりますが、かかりつけ医をはじめ、関係者に伝えたいことをそれぞれお願いします。

渡部 認知症の方を支援していくうえで、医療機関だけで解決できる課題はそう多くありません。受診することを支援の終着点とせず、ここから方針などを一緒に考えていくことで、その後の支援を充実したものにとできると考えています。引き続きセンターを活用していただきながら、地域で認知症の方を支えていけたらと思いますので、ご協力をお願いします。

藤枝 私は日頃から包括の方々をととても頼りにしています。引き続き、高齢者へ積極的に関わって道筋をつけてほしいということと、認知症の段階によって必要なニーズは変わってくるので、その都度小さなゴールに向かって支援してほしいと思います。かかりつけ医には、認知症が初期の段階でも重度になってからでも、そのかかりつけ医自身が困ったと感じた時が相談時ですので、手に負えないと感じたらいつでも相談していただければと思います。

石郷岡 介護・福祉の関係者は、よりよい生活環境等を検討し整えていく役割があると思いますので、初回の受診や通院をゴールとせず、その先どのような生活を送りたいかご本人やその周りの方の想いを汲み取りながら、目標をご本人・ご家族と共有して望んだ暮らしが続けられるよう、これからも支援していきたいと思います。本日はありがとうございました。



※ 1 認知症疾患医療センターの事業内容

(1) 専門的医療機能

- ①鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ②認知症の行動・心理症状と身体合併症への急性期対応
- ③専門医療相談

(2) 地域連携拠点機能

- ①認知症疾患医療センター地域連携会議の設置及び運営
- ②研修会の開催

(3) 診断後等支援機能

- ①診断後等の認知症の人や家族に対する相談支援
- ②当事者等によるピア活動や交流会の開催

(4) アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬に係る治療・相談支援等機能

(5) 事業の着実な実施に向けた取組の推進

(認知症疾患医療センター運営事業実施要綱より 令和7年1月現在)

※ 2 改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)



秋田市在宅医療・介護連携センター

〈受付時間〉月～金(祝日を除く)午前9時～午後5時
〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番5号(秋田市医師会館2F)
TEL:018-827-3636 FAX:018-827-3614
E-mail renkei-center@acma.or.jp



編集後記

藤枝先生も作成に携わっている「認知症サポートガイドブック」には認知症の方や家族を支えるための情報が凝縮されており、とても参考になります。詳しくは秋田市のホームページをご覧ください。

